

「やさしく」「つよく」「かしこく」育つ

校長 佐伯 孝司

最近の児童の様子から、この一年の成長ぶりを振り返ってみたいと思います。

### ★「ありがとう」を生み出す・見付ける・伝える



各学年からのクイズ等に笑顔と拍手で応える6年生

6年生に、「ありがとう」の言葉をたくさん贈った6年生を送る会。各学年が発表するクイズや歌、寸劇などに、会場が笑顔と温かい拍手に包まれていました。各学年の発表を盛り上げ、リ

た。その雰囲気をつくる中心にいたのは、5年生。しっかりと進行し、リーダーとしてもフォロワーとしても育っていることを感じました。

みんなからの「ありがとう」を生み出したのは、6年生がこれまでみんなのために頑張ってきたこと、やさしく関わってきたこと…その積み重ねです。1年生も、「6年生のおかげだったんだ」ということを一人一人が考え、どんなことに対して「ありがとう」の気持ちを伝えたいか、話し合っていました。



下級生からの手紙を喜んで受け取ってくれました

誰かのためにできることを考え言葉や行動を生み出すこと。自分の喜びや楽しみと誰かの行動との結びつきに気付くこと。感謝の気持ちを伝えること。大事なことを学んだ会でした。

### 【やさしく】



園児と遊ぶ5年生

直接交流する体験活動ができるようになってきて、5年生と臨川幼稚園の年長組との交流が続いています。校内でも異学年交流を、運動会等の行事、「なかよし班活動」などを通じて進めてきました。また、都立特別支援学校の児童が本校に副次的に籍を置き、交流活動を行う副籍

交流も行いました。事前に特別支援学校の先生に特別授業をしてもらい、どのように交流したらよいのかを考えて、実践しました。多様な交流活動を体験し、温かい心を育てていくことを、今後も大切にしていきたいです。



副籍交流前の特別授業

### 【つよく】



みんなで楽しく縄跳びタイム

2月に2週間ほど「縄跳び週間」に取り組みました。週間を習慣に。教員は、縄跳び週間の前後も、体育の学習や休み時間の遊び等を通じて、友達と楽しく体を動かすことのよさを伝えていきたいとの思いで進めてきました。身体を「つよく」に加え、目標をもって粘り強く頑張ることでも「つよく」なってほしいと願ってき



マーチングの自主練習

### 【かしこく】

タブレットで考えをつくり、共有し、目を合わせて話し合う。そんな姿がよく見られます。今後も、主体的に学ぶ姿、自己の変容を自覚できる学習展開、友達と学んでよかったという気持ちを大切にしながら、学習指導を進めます。



読書活動も大切に



友達と学んでよかった

今年度もすてきな姿をたくさん見せてくれた子供たちに、「ありがとう」という気持ちです。